

LEAVE NO TRACE



LEAVE NO TRACE JAPAN IMPACT REPORT 2021

NPO 法人リープノートレイスジャパン 2021 年度事業報告・決算報告書

Protect the Place
You Love!



Leave
No
Trace™
Japan



目次

代表理事あいさつ	3
2021 年度主要活動実績	4
指導者養成	5
プロジェクト	6
ネットワーキング	7
マーケティング	8
決算報告	9
企業パートナー・寄付団体	10
団体メンバー	11



代表理事あいさつ

NPO 法人リーブノートレイスジャパンの第1期を無事に終えようとしています。ここ数年のアウトドア産業の活況や、コロナ禍における3密回避や越境自粛による身近なアウトドア活動の増加など、多くの人々がアウトドアに出かけるようになりました。一方で、これまでにないような多くのビジターが訪れることによるオーバーユースの問題や、情報不足によるゴミ問題や焚き火痕などの環境問題が顕在していることも事実です。

私たちは、より多くの方々がアウトドアに出かけ、その恩恵を享受するとともに、環境へのインパクトを最小限にし、いつまでも質の高い自然環境を維持し、アウトドア産業が持続可能な発展をするために、リーブノートレイスの普及は欠くことができないと考え、世界四番目のブランチとして2021年8月にリーブノートレイスジャパンを設立しました。

リーブノートレイスの指導者養成は、国際的に野外指導者の養成プログラムを提供する一般社団法人 Wilderness Education Association Japan により、2013年から国内で開始されました。当初は、野外指導者に必要な包括的なスキルの一つとして、LNT テクニクが導入されましたが、その後、フットウェアメーカーである KEEN JAPAN が行う社会貢献事業「KEEN EFFECT」の支援により、LNT の指導者養成が、日本全国に広がりました。LNT の国際ブランチになるための条件として、LNT 指導者が一定数以上いることや、ブランチになる必要があることが、アプライの条件となっていますので、LNTJ の設立に向けて、WEAJ や KEEN JAPAN の貢献を忘れることはできません。

2021 年は、コロナ前であった、2020 年 2 月に締結された、LNTJ 国際ブランチ設立同意書に基づき、法人設立、事務局の基盤整備を行ってまいりました。その結果、我が国のアウトドア団体としては類を見ないような、幅広い分野から、各界をリードされる方々が理事として参加していただきました。また、コロナ禍にも関わらず、全国で 11 コース、124 名の LNT トレーナーが新たなメンバーに加わっていただきました。一方で、2021 年度中に計画していた、インストラクターコースが外国人の入国規制のため未だ開催できず、真の独立したブランチとしては、2022 年度への持ち越しとなっています。

第1期を終え、LNT という概念を、本来お届けすべき方々にまだまだ十分にお伝えしきれていなかったり、会員の皆様が LNT 指導者であることに誇りを持って活動いただけるプロジェクトが不足していると反省しておりますが、アメリカで LNT が 25 年かけて作り上げてきたシステムの助けを借りながら、地に足をつけて一歩ずつ我が国のアウトドアの発展のために歩んでいければと思います。



岡村 泰斗

NPO 法人リーブノートレイスジャパン代表理事





中学校体育教科書掲載

大修館書店が発行する 2021 年度版「ステップアップ中学体育」の「アウトドアスポーツ」の章に LNT の 7 原則が掲載されました。この教科書は国内シェアの約 3 割を占めます。これからは学校キャンプやアウトドア修学旅行に LNT を知っていて当たり前の中学生たちが参加する時代が来るかもしれませんね。



日本セーフティパドリング協会連携協定

2021 年 12 月に公開された野外指導団体連携協定の第一号として、2022 年 3 月 9 日に日本セーフティパドリング協会と調印を行いました。この制度は、アウトドアガイドをはじめとする野外指導者団体の育成カリキュラムに LNT を導入することで、その団体に所属するガイドに LNT を活用してもらうための制度です。LNTJ のミッションの一つである「LNT を全ての野外指導者に」に向けて LNT の輪が広がっていくといいですね。



環境 NGO 4 団体連携

2022 年 1 月に行われた東京アウトドアショーにて、北米の環境 NGO を起源とする Conservation Alliance Japan (CAJ)、Surfrider Foundation Japan (SFJ)、Protect Our Winter (POW) とともに、トークセッションを行いました。このコラボレーションがきっかけとなり、新たな連携事業も計画されており、これからも共に日本のアウトドアシーンを盛り上げていきたいですね。

ブランチ契約最終合意

2022 年 2 月に、LNT の本部があるコロラド州ボルダーにて、LNT との国際ブランチ協定の最終的な協議が行われ、合意に至りました。調印式は、2022 年 6 月 11-12 日行われる第 1 回 LNTJ カンファレンスで行われます。



LNT Executive Director
Dana Watts

FEATURING IMPACTS 2021

TRAINER COURSES



トレーナー

124人



コース

11コース



アウェアネス
ワークショップ

162+

LNTJは、LNTJ 国際ブランチ設立同意書に基づき、2021 年 3 月に設立総会を行い、法人認証前でしたが、組織として会員、コースを管理できるようになりました。その結果、全国で 11 コース、124 名の LNT トレーナーが誕生しました。一方で、トレーナーコースを開催できるマスターエデュケーターの数に限られており、必要な地域や団体に、コースをお届けできない反省もありました。国際ブランチとして独立するためには、国内でのマスターエデュケーターの養成ができるようにならなければなりません。2022 年度は、外国人の入国規制で開催できなかったインストラクタートレーニングコースを開催し、真の国際ブランチとして、歩を進められるよう計画しています。



参加者

1208人



日数

55日



ゴミ

4.6t

RIVER CLEAN UP

アメリカのLNTでは、アウトドアレクリエーションによりダメージを受けた土地を回復し、再び同じダメージが起こらぬよう土地の利用の仕組みづくりをする「ホットスポット」という有名な社会貢献プログラムがあります。LNTJでも単にダメージを回復するためだけの環境保全活動ではなく、その土地でLNTを行動に移し、いつまでも持続可能なアウトドアフィールドを維持するためのプログラムを計画しています。2021年度は長年、多摩川でリバークリーン活動を行う「みたけレースラフティングクラブ」と連携し、試験的に環境保全事業を行いました。今後この活動をプログラム化して、日本全国で活動するLNT指導者のフィールドにお届けできるように計画しています。

COLLABORATED PUBLISHERMENTS

LNTJ では、協賛企業、地方自治体、野外指導者団体、団体会員との連携を通じて、各種出版物への LNT の掲載をお手伝いしています。掲載内容の情報提供、編集、校正を行いますので、お気軽にお問合せください。



ステップアップ中学体育
大修館書店



新・高みへのステップ
独立行政法人日本スポーツ振興センター
国立登山研修所



公式ガイドブック信越トレイル
信越トレイルクラブ

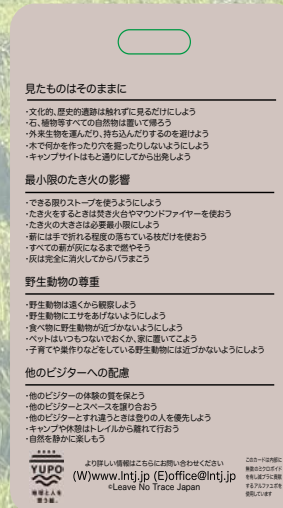
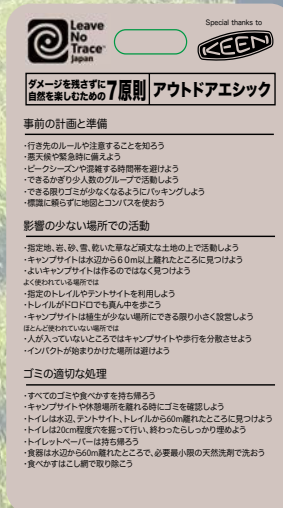


ハイキングログブック
KEEN JAPAN



やんばる学びの森
一般社団法人教育振興会

第1期中に、LNT ステッカー、KEEN JAPAN の協賛により LNT 7 原則タグ、LNT ブローシャーの制作を行いました。7 原則タグは、今回制作した一般的なテクニック以外にも、ロッククライミングやパドリングなどのアウトドア活動ごと、雪山や海などの活動フィールドごと、さらに特定の地域ごとに異なるテクニックを解説した 7 原則タグを制作していく予定です。タグの制作を希望する活動団体、土地管理団体、地方自治体は、LNTJ とオリジナルタグの共同制作をすることができます。毎年少しずつタグの種類が増えて、日本の LNT を鮮やかに彩れる日が来るといいですね。



ステッカー

7 原則タグ

ブローシャー

※ステッカー、7 原則タグはプラスチックの含有量を極限まで少なくした環境にやさしいユゴ紙を使用しています。

PRODUCTS TO TEACH & PROMOTE

FAINANCIAL REPORT

2021 年度は新型コロナによる活動自粛のために NPO 活動に大きな制限があった中、トレーナーコースの開催や、スポンサー企業の支援及び、アウトドア団体からの寄付金により、一定の資産を残すことができました。一方で、2022 年度の国際ブランチ登録費に対して、あと一步資産目標に及ばすといった結果となりました。2022 年度は、新型コロナも落ち着き、2021 年度以上のアクティビティがあることが予測されますので、無事に正式な国際ブランチとしてのスタートを切ることができそうです。

(単位：千円)

経常収益	3,092	100%
正会員会費	782	25%
賛助会員会費	1,702	55%
寄付金	579	19%
特定非営利活動事業	19	0.6%
その他事業	10	0.3%
経常費用	1,336	100%
特定非営利活動事業	868	65%
管理費	468	35%
資産	1,968	100%
流動資産	1,620	82%
商品	348	18%

SPECIAL THANKS

ゴールドパートナー



Goldwin

シルバーパートナー



ブロンズパートナー



寄付団体



2021 Outdoor Innovation Summit

団体メンバー（2022.5 現在）

東北ブロック

青森

Towadako Guidehouse 權

宮城

アース・クエスト

くりこま高原自然学校

国立花山青少年自然の家

なかのカヤック

MORIUMIUS

自然学校キッツ森のようちえん

関東ブロック

茨城

株式会社 backcountry classroom (ME)

東京

ひの自然学校

snufkiins LLC.

みたけレースラフティングクラブ

神奈川

一般社団法人 Telacoya921

HAKONE UNITED

Explore Hakone

かながわ山岳ガイド協会

東海北陸ブロック

新潟

和島オートキャンプ場

長野

株式会社信州アウトドアプロジェクト

NPO 法人信越トレイルクラブ

四徳温泉キャンプ場

南信州キャンプセッション

株式会社柳沢林業

NPO 法人やまぼうし自然学校

合同会社トビチカンパニー (grav bicycle)

関西ブロック

滋賀

滋賀文教短期大学

大阪

公益財団法人大阪 YMCA

兵庫

株式会社ウエストジャパンアウトドアスクール

中国四国ブロック

広島

はつかいちキャンプ協会

山口

国立山口徳知青少年自然の家

香川

神戸 YMCA 余島野外活動センター

九州ブロック

福岡

株式会社センス

株式会社 FREE CAMP

Hug 平尾台プロジェクト

地球のかけら HIRAODAI

沖縄

株式会社沖縄どきどきツアーズ

キャンプ沖縄事業協同組合

国頭村環境教育センターやんばる学びの森

一般社団法人多良間村ふしゃぬふ観光協会

多良間島観光サービス



ORGANIZATIONS TO MAKE A DIFFERENCE

Protect the place
you love.



NPO 法人リープノートレイスジャパン

編集：岡村泰斗、寺田達也、柴田大吾、古幡浩史、栗原亜弥

発行所：〒130-0001 東京都墨田区吾妻橋 1-10-3
